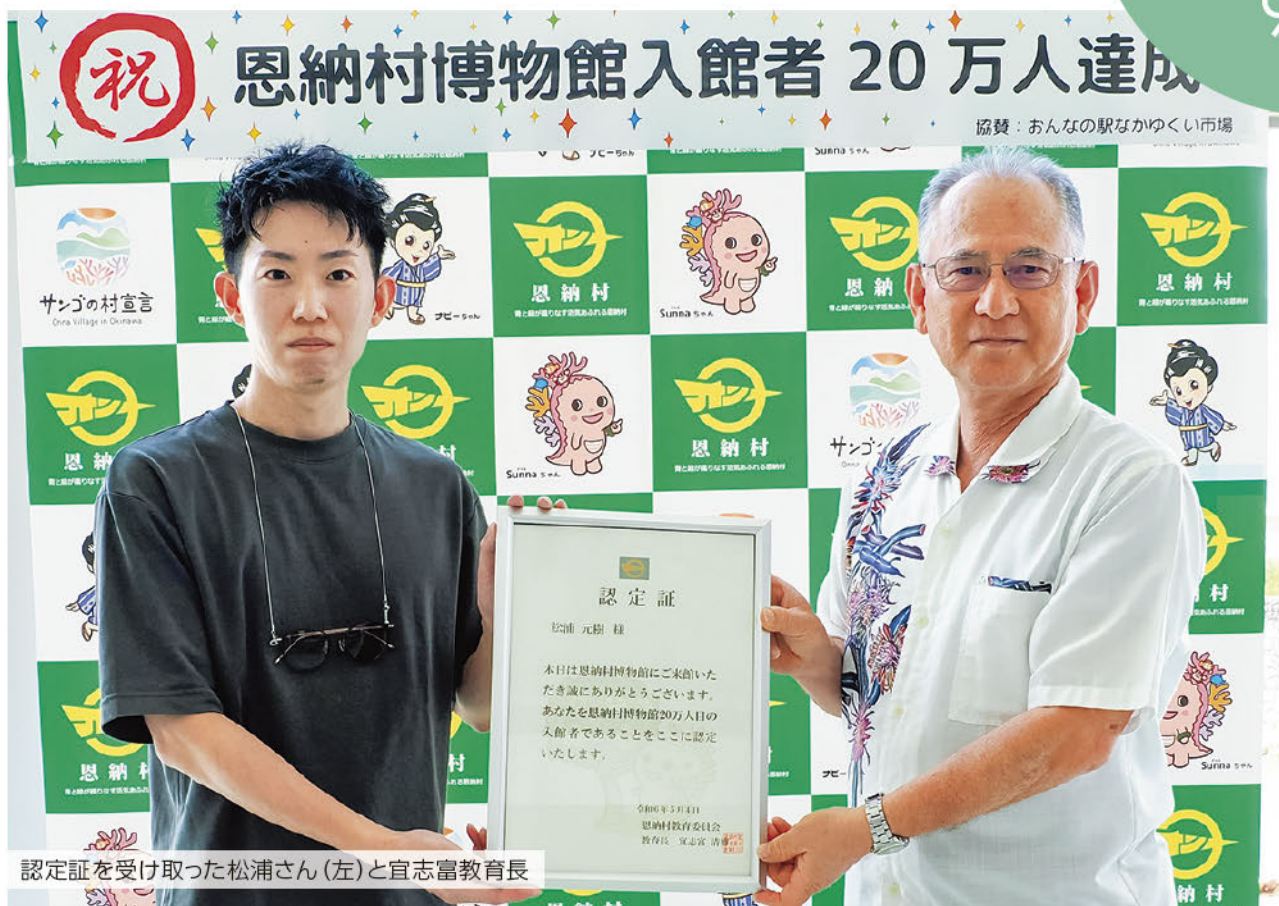


恩納村博物館入館者20万人達成！



認定証を受け取った松浦さん(左)と宜志富教育長

博物館では2001年5月1日の開館以来の累計入館者が、5月4日に20万人を突破しました。記念すべき20万人目の入館者は友人と2人で嘉手納町からお越しの松浦元樹さんでした。記念セレモニーでは松浦さんに宜志富教育長から20万人目の「認定証」が、山田社会教育課長からは記念品として村産品の詰め合わせが贈呈されました。認定証と記念品を受け取った松浦さんは「休みを利用し、友人とたまたま訪れたが、とても良い記念になりました」と話しました。

これまでにご来館いただいた皆様、多くの関係者や博物館活動に多大なるご協力をいただいた皆様に厚く感謝申し上げます。今後も展示会や博物館講座などをおとして、恩納村の歴史・文化・自然の情報を発信していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

資料紹介

5月28日～7月7日まで博物館で開催の慰霊の日特別展「恩納村と戦争」で博物館所蔵資料として展示している「琉球群島(其ノ二)」という地図を紹介します。

この地図は昭和19年に旧日本軍の参謀本部が作成した『陸海編合図』というシリーズの地図で、陸上部分を5万分の1地形図で、海洋部分は小縮尺海図を拡大した海図を使用し、島嶼(とうしょ)部分の海底の深さが分かるように編集されています。

戦後、役場で村指定文化財「国頭郡恩納間切各村全図及び字図等」とともに保管されていましたが、「軍事秘密」とされていた地図がどのような経緯で役場に移されたか分かっていません。

